

I. 自己点検・評価の目的

一般社団法人東京公認心理師協会が清瀬市から業務委託を受けた清瀬市教育相談室運営事業において、その業務が「清瀬市教育相談室運営業務委託仕様書」に基づいて適切に行われているかについて自己点検し、自己評価を行った。また、外部の第三者より客観的評価を受け、清瀬市教育委員会へ報告した。自己点検・評価期間は令和5年4月～令和6年11月である。

2. 清瀬市教育相談室の業務内容

- 1) 教育相談に関すること：来室相談、電話相談、コンサルテーション、心理検査など
- 2) フレンドルーム（教育支援センター）における支援に関すること：観察助言、心理教育講座
- 3) 就学相談及び転学相談に関すること（含む知能検査等）
- 4) 教育相談室の広報に関すること
- 5) 定期学校訪問に関すること
- 6) 緊急対応に関すること
- 7) 関係機関との連携、学校の校内研修等の講師
- 8) 自主事業に関すること：市民向け公開講座、個別相談会

3. 利用者満足度評価：利用者アンケート

1) 利用者アンケートについて

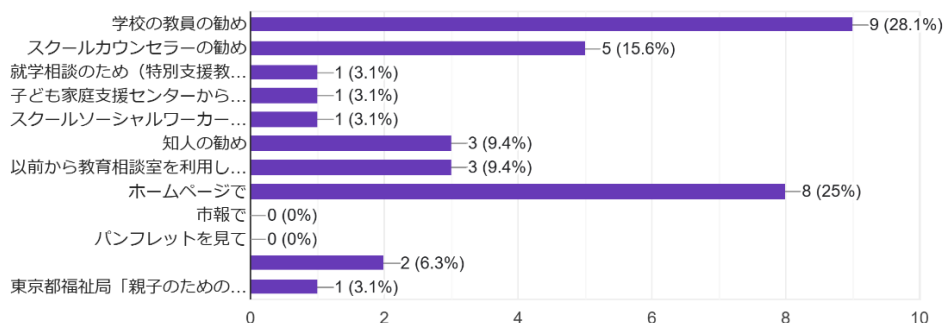
- ・実施時期：令和5年12月1日～令和6年2月29日（受託1年目に実施）
- ・実施方法：来談者にアンケートの主旨を説明し Web または用紙で回答を依頼した。

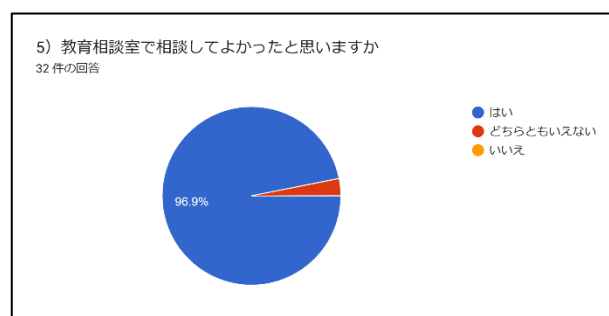
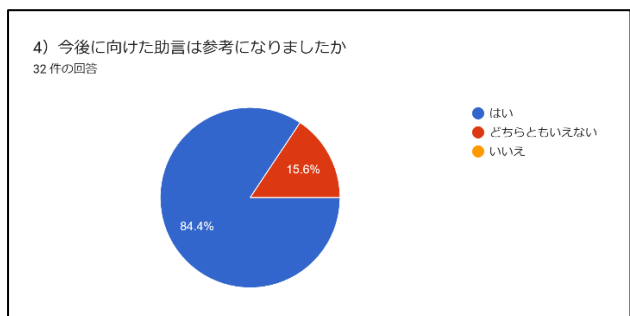
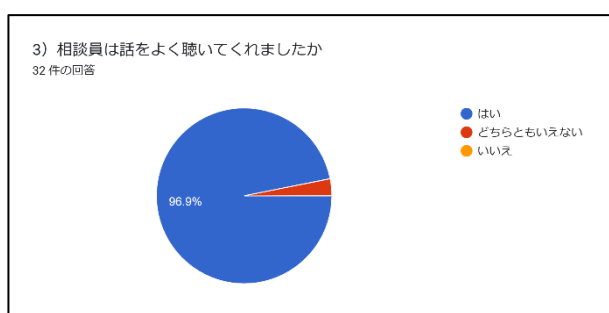
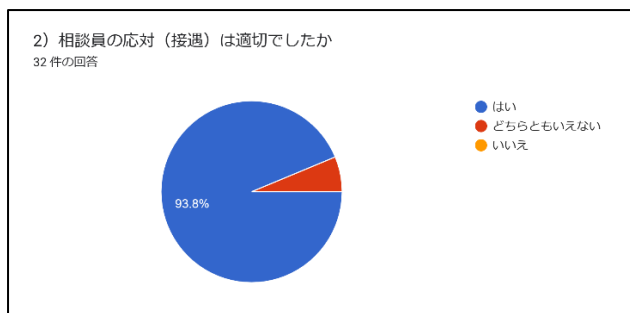
2) 利用者アンケート結果

- ・継続相談を利用している保護者 32 件

1) 清瀬市教育相談室を利用したきっかけは何ですか。（複数回答可）

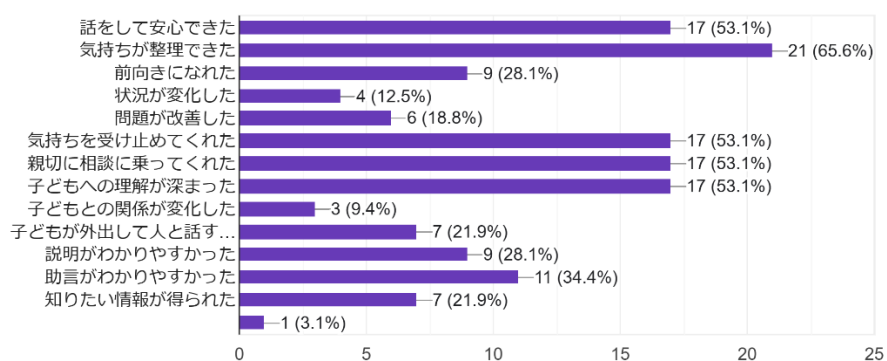
32 件の回答



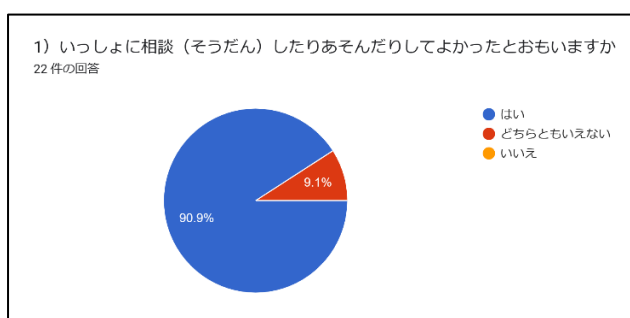


6) 上記 5) の「教育相談室で相談してよかったと思いますか」に「はい」と回答された方へ伺います。どのようなことからそうお感じになりましたか。該当するもの全てにチェックを入れてください。（複数回答可）

32 件の回答

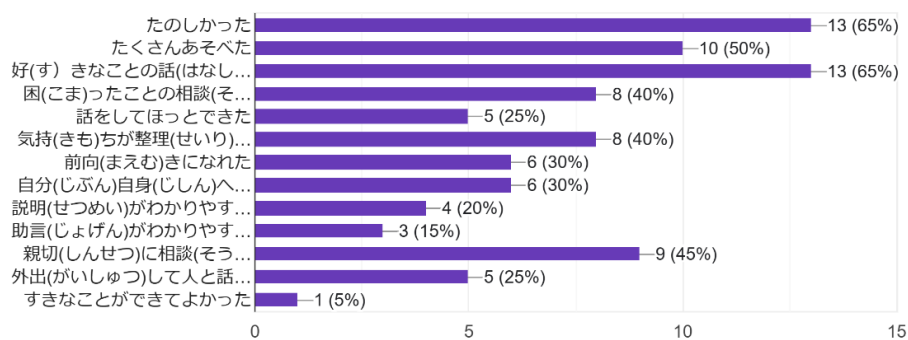


・継続相談を利用している子供 22 件



2) 上記 1) で「はい」に回答（かいとう）した人へ、どのようなことからそう感（かん）じましたか。あてはまるもの全て（すべて）にチェックをしてください。

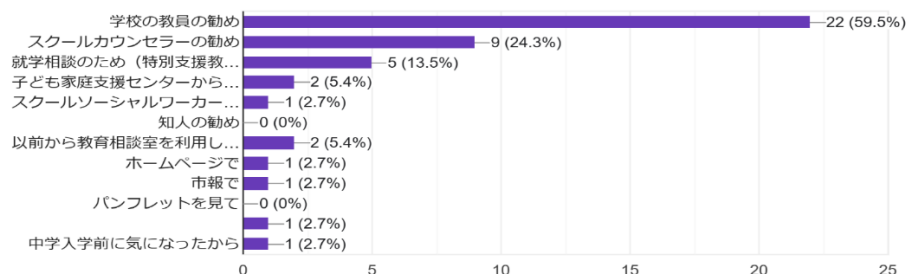
20 件の回答



・ 検査を利用した保護者 39 件

1) 清瀬市教育相談室を利用したきっかけは何ですか。(複数回答可)

37 件の回答



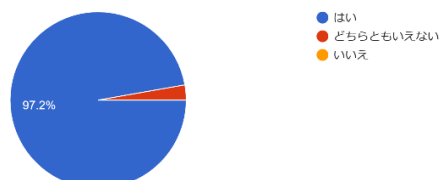
2) 相談員の応対(接遇)は適切でしたか

37 件の回答



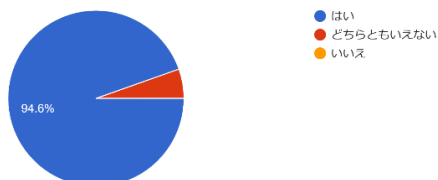
3) 相談員は話をよく聴いてくれましたか

36 件の回答



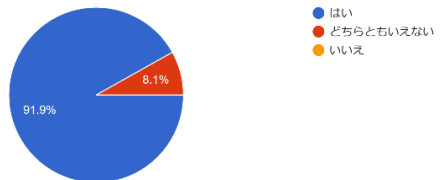
4) 今後に向けた助言は参考になりましたか

37 件の回答



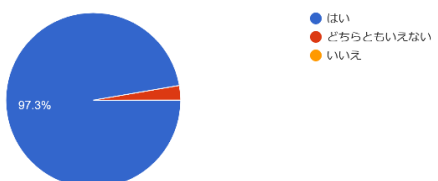
5) 個人情報の扱いについて十分注意を払われていると感じましたか

37 件の回答



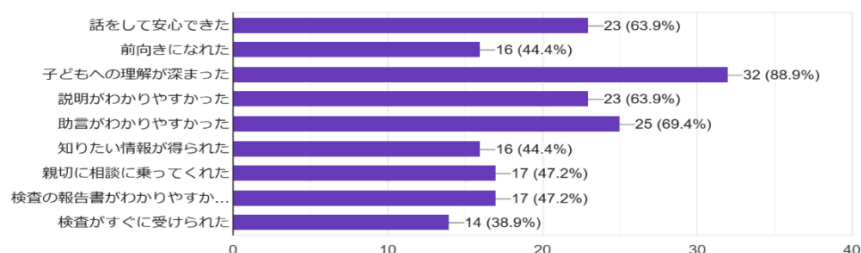
6) 教育相談室で検査を受けてよかったと思いますか

37 件の回答



7) 上記 6) の「教育相談室で検査を受けてよかったと思いますか」に「はい」と回答した方にうかがいます。どのようなことからそうお感じになりましたか。該当するもの全てにチェックを入れてください。(複数回答可)

36 件の回答



3) 利用者アンケート結果のまとめ

- ・教育相談室を利用したきっかけとしては、学校やスクールカウンセラーからの勧めが多く、ホームページを見て申し込んだ人も多かった。
- ・教育相談室の対応については、良好であるとの意見が多かった。
- ・「教育相談室を利用してよかった」理由としては、継続相談利用者からは「気持ちが整理できた」「話をして安心できた」「気持ちを受け止めてもらえた」「子どもへの理解が深まった」、子供からは「楽しかった」「好きなことの話ができた」、検査利用者からは「子どもへの理解が深まった」「助言が分かりやすかった」「話をして安心できた」などの意見が多く寄せられた。

4. 自己点検評価に基づいた現状・課題・改善計画

(A：十分にできている、B：ややできている、C：不十分である)

	評価項目	評価	取組状況
1	教育相談に関する業務を適切に行った	A	・相談数、心理検査数については、前年度より増加した。
2	フレンドルーム(教育支援センター)における支援を適切に行った	A	・心理相談員が支援に入った。 ・心理教育講座は、子供の現状に合わせて実施した。
3	就学相談及び転学相談に関する(含む知能検査等)業務を適切に行った	A	・必要とされた検査を実施できた。
4	教育相談室の広報に関する業務を適切に行った	A	
5	定期学校訪問を適切に行った	A	・年間2回の学校訪問を実施できた。
6	緊急対応を適切に行った	A	
7	関係機関との連携を適切に行った	A	
8	自主事業を適切に行った	A	・市民向け公開講座を実施し、並行して個別相談会を行った。
9	従業員の管理を適切に行った	A	
10	文書等の管理を適切に行った	A	

【まとめとして】

教育相談室事業として予定していた事業のすべてを実施することができた。

旧教育相談室からの業務の移行がスムーズにできた。

相談数、検査数共に、前年度より増加し、市民に教育相談室をよく活用してもらえたと考える。

市内の関係機関との連携の基盤ができた。

【改善計画】

- ・今後さらに相談数、検査数が増加した場合の対処方法として、相談員数や相談用の部屋数について検討していく。

5. 第三者評価のまとめ

- ・相談業務をはじめとする本事業に丁寧にあたっていることがわかった。
- ・心理職には教員とは異なる視点から見えるものがあるので、学校訪問などで顔合わせをすることが、結果的に予防的対応にもつながるであろう。
- ・今後の課題としては、オンライン相談やチャット相談のニーズがあると思われるが、そのためには、専門スタッフの導入や研修などが必要になるであろう。